

公共調達監視委員会議事内容

令和3年7月28日

1. 審議案件説明

事務局から、審議案件について契約件名、契約相手方、契約概要、競争参加資格、参加者数、入札経緯及び結果等の説明を行った。

2. 審議内容

【一般競争入札分】

委員) 参加資格の設定理由のところについて。競争性を確保するために、本来の等級に上と下を加える、上2つを加える、下2つを加えるといったように、違いがところどころあるが、なぜ上2つを加えたときに下1つを加えないのか、あるいはなぜ下2つを加えるかといった選別の点について、恣意的ではなく何らかの基準があるのか？

事務局) 主に前年の落札者の等級や参加者の等級を見て、それにある程度寄せている。応札したところの等級を見ながら決めているため、このようなばらつきがあるもの。No.19は、C等級で上位2級を加えている。以前はD等級を入れていたが、D等級の業者が落札した時に、実施の内容が良くなかったということからD等級を除いた経緯がある。

委員) 何か文書化された基準があるわけではなく、担当者の恣意によるものとなるのではないかが気になる。

事務局) 資料別紙1の107頁の「又は」以降に基準がある。この判断については、状況を見ながら(担当者の)裁量によるところとなる。

委員) No.21について1者入札だが、落札率が87.3%と低くなっている。去年と同様の発注であれば、そう低くならないように思われるが、去年の契約金額と水準が異なるとか、予定価格の決め方が異なるなどの原因と思われることはあるのか？

事務局) 去年よりも事業内容のボリュームが増えたため。前年は、400～500万円の事業であったため。

委員) NO.23の再委託は、前年度の委託先と同じだということはないのか？

事務局) 個人にキャリアコンサルティングの再委託をしている

委員) 入札するときから再委託しているのか、それとも落札してからか？

事務局) 落札した後で(再委託の)申請を受け承認をする形である。

委員) 前の業者と同じところに再委託している感じか？

事務局) 一部かぶっている方もいるかもしれない。

委員) 再委託の相手方は個人であるが、再委託の条件は付けているのか？

事務局) キャリアコンサルティングの資格・経験を持つ者である。仕様書の4頁に載っている。

委員) この方たちが直接にコンサルティングをしているかどうかは、検収の時に見られるのか。

事務局) そうである。

委員) 資格証を取ったりはしていないのか。

事務局) していない。

委員) No.9 の仕様書の什器類のグリーン購入法について。「グリーン購入法適合製品等での応札に努めること」は努力義務であり、まじめに遵守した場合、価格が高くなるのではないかと。

事務局) 文房具は浸透しているので、ほぼ対応できているが、本件の場合什器なので、ものによっては難しいものもある。

委員) グリーン購入法がどれくらい有効だったかについての検証はされているのか。

事務局) 既製品だと、カタログでチェックするが、オーダーメイドに近いような物品はそこまでチェックしきれてないところがある。

委員) No.21 について 1 者は昨年度と同じ会社になるのか？

事務局) そうである。なかなか入札に参加してもらえない状況であるが、来年度に向けて問い合わせがあったため、次は期待できる見込みである。一度取ってしまうとその会社が続けて取ることになりがちである。

委員) 全体では前回より応札者が増えたイメージがある。

委員) No.10 について電力の使用量が増えた場合、この契約金額以上の費用が発生するのか？

事務局) 単価で計算するので、使用量が増えれば、金額も上がることになる。もし今年度使用量が増えれば、来年度はそれに基づいて金額が決まる。再生可能エネルギーの使用の割合も何パーセント以上にするようにとも（本省から）求められている。

【随意契約分】

委員) No.40、41 について前年度においても同様の契約となっているとあるが、前前年度との比較を見ると、例えば No.40 の事案は同じ契約内容と言いながら金額がだんだんと上がってきている。逆に No.41 No.40 の事案は同様の契約内容といいながらだんだん下がってきている。同様の契約内容と言いながら、何か別の要素があるのか？

事務局) 事業全体が縮小傾向であるが、個別には前年度の執行率が反映されていることもある。増えているところについては 100%以上の、持ち出しが多少ある執行をしている。逆に多く減らされている場合は、執行率が低くて金額をたくさん返してもらったりという経緯を踏まえて設定をしている。あとは事業の実施をきちんとやってくれているかという点も多少ある。

委員) No.38 で人が減っている（4 名から 3 名へ）が、サービスの質は確保されているのか、それとも縮小ということで予算の関係上厳しいため、そこまでは問わないということか？

事務局) 人員を減らしても質を確保できるという見込みと思われる。詳細については、原課でないとわからないところもあるが、そこまで大きな質の低下にはつながっていない。

委員) IT を使えばある程度効率的にできるということかもしれない。

委員) No.42 シルバー人材センターの件は、金額が大きく下がっているが、これも事業の縮小が原因か？

事務局) 事業の縮小も原因だが、それに加えて、事業の執行率も低かったということも原因である。